

令和 7 年度事業報告書

公 益 社 団 法 人

全 国 競 輪 施 行 者 協 議 会

事業概要

令和7年度の総車券売上高は、対前年度比 16.6%増の1兆5,487億8,116万3,200円となり、令和6年度に続き競輪第2次中期基本方針における上方修正後の売上目標額1兆2,500億円を大幅に更新した。

本会においては、社会還元最大化のために競輪を行っていることを強く認識するとともに、売上及び施行者収益額の向上に向け様々な取組を実施しており、その主な内容は次のとおりである。

◆ 競輪第3次中期基本方針の策定

令和7年度が競輪第2次中期基本方針の最終年度となることから、施行者意見を取りまとめ、関係団体との協議の上、新たに4つの柱を戦略とする中期基本方針を策定し、令和8年度から5年間を第3次の方針期間として、業界全体で取り組むこととした。

◆ 令和8年度開催枠組みの検討

令和8年度の開催枠組みについて、競輪第3次中期基本方針の取り組みに掲げた「多様な顧客ニーズに応じた戦略的なレースの提供」を見据え、「3日制2節GⅢ」や「KEIRIN ADVANCE」の試行開催継続や、外国人選手の短期登録選手制度を再開するほか、支援・協賛競輪も引き続き実施することとした。

◆ 新たな競輪開催の実施

サマーナイトフェスティバルの3日制から4日制への拡大や、女子オールスター競輪をGⅠへ格上げし開催したほか、新たに愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会協賛競輪やワールドサイクリスト支援競輪を実施し、収益の一部を拠出した。

◆ 発走時刻全国調整の実施

お客様の車券予想及びレース観戦時間を確保することを目的に、同一の時間帯で複数の開催が行われる場合の同時刻発走等を解消するよう、全てのレースにおいて発走時刻の全国調整を実施した。

◆ 戦略的な広報の実施

「競輪第2次中期基本方針を踏まえたプロモーション基本戦略」に基づき、20歳代から30歳代の男性をメインターゲットとして、これまでのCMコンセプト「こんなス

ポーツ、他にないだろ? DRAMATIC SPORTS. KEIRIN」を継続して放送することによって、視聴者のCM認知度の向上を図ると共に、令和7年度からは新たに「友人と共に篇」を放送し、年間1,849本のテレビCM放送を行った。

◆ **競輪公式投票CTCにおける活性化策の実施**

電話・インターネット投票を活性化させるため、キャッシュバックキャンペーンの効果的な広告デザインの調整や、参加条件の見直しを行うと共に、新規入会やキャッシュバックキャンペーンを実施し利用者の増加に努めた。また、CTCの特徴を周知することを目的に冠名を「CTCなら3分前まで買える杯」に変更して実施した。

◆ **ギャンブル等依存症対策の実施**

公営競技監督官庁からの要請に基づき、他公営競技団体と共に検討部会を設置し、ポイント制度の取扱いに関し、キャンペーン内容の精査を行い、全公営競技を包含する広告・宣伝指針へポイント制度の取扱い等を明記する改正を行った。これを受け、競輪広告・宣伝指針も改正し、改正内容に関する質疑応答集を作成し周知を図った。

◆ **2028VIS構築に係る対応**

データセンターの新たな構築や、拠点回線ネットワークにおける競輪場ネットワークの整備、経費負担割合など、2028VIS構築における対応方針、機能実装等が決定された。また、経費負担割合について、JKAとの合意に至った経緯や詳細について地区説明会を実施した。